

能を知る愉しみ
《明之會 能楽体験講座》

『鶴亀』を謡ってみよう

- 日時
H30.5月24日(木)、6月7日(木)、7月5日(木)、8月2日(木)、9月6日(木)
全5回・各正午～1時30分 ※講師の都合で日時が変更される場合があります。
- 場所
眞謡会田端教室稽古場 北区田端3-21-5(駒込駅徒歩7分)
- 定員
10名
- お話と指導
観世流能楽師 加藤 眞悟
- 参加費
20,000円(原則として5回参加)
教材費3,950円(観世流初心本(上)五番綴)別途
- 持参するもの
白足袋(扇は当方で用意いたしますが、お持ちの方はご持参ください。)

加藤 眞悟(かとうしんご)



昭和33年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎師に師事。観世流準職分。日本能楽会会員(重要無形文化財能楽の保持者)。日本大学文理学部哲学学科卒。在学中に現梅若万三郎師に師事し、昭和62年能楽養成会教程終了。同年より梅若研究会例会にてシテを勤める。各地にて能の普及に努め、海外公演にも多数参加。平成25年新作能「将門」(梅若万三郎監修、小林保治作)、26年復曲能「真田」・28年復曲能「伏木曾我」(共に梅若万三郎監修)の制作に携わり初演のシテを勤める。平成11年より毎年「明之會」を開催する。「眞謡会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。主な開曲「狸々乱」「石橋」「道成寺 赤頭」「砧」「望月」「安宅」「恋重荷」「卒都婆小町」。(公財)梅若研究会理事、(公社)能楽協会東京支部常議員。平成29年7月 いせさき教育アンバサダーに認定される。

講座内容

	お 話 (30分)	謡の実習 (30分)	型の実習 (30分)
第1回 5/24(木)	○知る愉しみ ・能の歴史	『鶴亀』1 「それ青陽の～ 夥し」マデ	『基本の型』1 カマエとハコビ サシ込ミ、ヒラキ 角取り
第2回 6/7(木)	○謡ってみよう ・謡の音律(音階と間の取り方) ・コトバの謡方	『鶴亀』2 上歌「庭の砂は～ ありがたき」マデ	『基本の型』2 左右、打込 扇の持ち方のいろいろ サシワケ
第3回 7/5(木)	○観てみよう ・能「鶴亀」の映像を鑑賞 ・鶴亀の背景と鑑賞のポイント	『鶴亀』3 ワキ「如何に奏聞～ 舞ひ給ふ」マデ	仕舞『鶴亀』1 前半部分
第4回 8/2(木)	○考えてみよう ・能舞台、能の分類と夢幻能について ・舞について(序破急、舞と無)	『鶴亀』4 「月宮殿の～ 最後マデ	仕舞『鶴亀』2 後半部分
第5回 9/6(木)	○能面を観てみよう ・鶴(小面)と亀(邯鄲男)の面、他 ・受講者の一人に能面をつけてハコビの体験	『鶴亀』5 全体	仕舞『鶴亀』3 全体 謡と仕舞の発表

■お申し込み・お問い合わせ(お名前・連絡先・テキストの有無を添えてお申し込みください。)

加藤 眞悟 TEL/FAX.045-481-8704 公式サイト <http://katoshingo.com>

※日程は公演などの都合により変更する場合がございます。